

定例公安委員会の開催状況について

令和2年6月18日（木）に、第17回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 7月の行事予定

7月の行事予定について報告があった。

2 マンションエステ店にかかる風営適正化法違反（禁止地域営業）事件の検挙について

山形市内のマンションでエステ店を装い、山形県内全域で営業が禁止されている店舗型の風俗店を営んだとして、風営適正化法違反（禁止地域営業）事件を検挙した旨の報告があった。

委員のコメント

- 看板を出さずに行う潜在的な営業形態であるため、他にも同種違法営業があるかもしれない。サイバーパトロールを通じて摘発に努めてほしい。
- 新型コロナウイルスによる接触感染の危険性がある中での営業であり、今後も夜の街関連の取締りを進めてほしい。
- 数年にわたって行われ、多人数が関わっていた犯罪であり、大規模な捜査体制を構築して検挙したことを評価する。普段からのサイバーパトロールを充実させてほしい。

3 運転者疑似体験型集合教育装置「動画KYT」の導入について

CG（コンピュータグラフィックス）による仮想の道路交通環境をスクリーンに投影し、複数の受講者が事故回避のための危険予測を目的とした運転を同時に疑似体験することで、安全運転に必要な危険予測能力を高め、交通安全意識を向上させる、運転者疑似体験型集合教育装置「動画KYT」の導入について報告があった。

委員のコメント

- 『交通安全危険予測シミュレータ』も『わたりジョーズ君』も歩行者用の機材だが、今山形県で一番問題なのはドライバーに対する運転者教育であると思う。価格も比較的安価であり、この機材に期待したいと思う。
- 低価格であれば、普及も容易であると思われる。体験してみたいと思う。
- 他県でも導入しているとすれば評価を聞いてみたい。これまでと違い、運転者の視点で行うもので、私も体験してみたい。

4 指定警護要員に対する警護訓練の実施（予定）について

警護現場対応能力の向上を図ることを目的とした、指定警護要員に対する実践的な訓練の実施（予定）について報告があった。

委員のコメント

- 移動自粛で訓練の機会を減少せざるを得ないだろうが、経験がないと動き方について頭で分かっているにもかかわらず動けないということがあるので訓練を実施してほしい。また、想定が変更になる場合もあるのでマニュアルでない動き方を習得してほしい。
- 新型コロナウイルスの時代には要人警護も大変だろうと思う。選挙の警護では聴衆がヤジを飛ばしたりするので別の配慮も必要になるだろうし、警護員の対応が問題視された事案もあるので、これらに留意して訓練を行ってほしい。また、ドローンの時代でテロ対策の危険性も高まるので、是非訓練を通して要人警護の安全性を高めてほしい。
- 来年は知事選挙がある。総理大臣クラスが応援に来ることもあるかもしれないし、選挙以外にも外国大使等、様々な要人が来県する可能性を踏まえて、是非、実戦的な訓練を継続してほしい。